

事前評価個表

整理番号	95
------	----

地域（地区）名	<small>おおよどかわ</small> 大淀川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	宮崎市ほか7市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>大淀川流域森林計画区は159,527haで、このうち民有林が70,906ha(44%)、人工林面積が51,189ha(72%)となっている。また、人工林の8割をスギが占め、齢級別面積は9齢級をピークに8齢級以上の林分が66%を占めており、スギを主体とした人工林資源は収穫可能な時期を迎えている。</p> <p>しかしながら、森林資源が充実していく一方で、近年の木材価格の長期低迷や高齢化等による林業労働力の低下から、間伐等の保育管理が不十分な人工林が見受けられるようになり、このまま推移すると、森林の公益的機能の発揮にも支障をきたすことが懸念されることから、長伐期施業による資源循環を促進するため、大淀川地域森林環境保全整備計画を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき、未植栽地の解消、森林に応じた伐採や植栽・保育管理を着実に実施することにより、水源かん養機能等、森林の有する多面的機能の発揮が可能となる。</p> <p>他産業との連携に関しては、本計画の地域は農林業が基幹産業であり、その多くは野菜・畜産・特用林産及び林業を取り入れた複合経営であることから、農林業の振興及び農林道の整備や施設の木造化等において、関係部局と連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,873ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：2,773,432千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.40 (総便益(B) = 19,783,748千円、総費用(C) = 5,805,361千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性から見て必要性が高い</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林の整備によって、森林の有する公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産に有効である。</p> <p>本計画では、森林の有する多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

宮崎県

地域名: 大淀川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,770,603	
	流域貯水便益	2,941,776	
	水質浄化便益	5,022,187	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,794,130	
	土砂崩壊防止便益	6,621	
環境保全便益	炭素固定便益	2,123,671	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	124,760	
総 便 益 (B)		19,783,748	
総 費 用 (C)		5,805,361	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,783,748}{5,805,361} = 3.40$		

森林環境保全整備事業 大淀川地域 (宮崎県) 概要図

